



平成 21 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 カンダホールディングス 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 勝又 一俊
 (コード番号 9059 東証第二部)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 原島 藤壽
 (TEL. 03-3265-1841)

関係会社株式評価損の計上及びのれんの償却額の計上並
 びに平成 21 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社が保有する関係会社株式のうち、実質価額が著しく下落したものについて、平成 21 年 3 月期の個別決算において、下記の通り関係会社株式評価損を特別損失として計上することといたしました。

また、平成 21 年 3 月期の連結決算において、のれんの償却額を特別損失として計上することといたしましたのでお知らせいたします。

また、これに伴い、平成 20 年 5 月 14 日に公表いたしました「平成 21 年 3 月期の連結・個別業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)」を次の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期における関係会社株式評価損等の総額

	単体	連結
(A) 平成 21 年 3 月期第 4 四半期 (平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで) の関係会社株式評価損等の総額 (=イ-ロ)	255 百万円	145 百万円
(イ) 平成 21 年 3 月期 (平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで) の関係会社株式評価損等の総額	255 百万円	145 百万円
(ロ) 直前四半期 (平成 21 年 3 月期第 3 四半期) 累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで) の関係会社株式評価損等の総額	一百万円	一百万円

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B) 平成 20 年 3 月期末の純資産額	9,566 百万円	10,339 百万円
(A/B×100)	2.6%	1.4%
(イ/B×100)	2.6%	1.4%
(C) 平成 20 年 3 月期の経常利益額	1,023 百万円	1,194 百万円
(A/C×100)	25.0%	12.1%
(イ/C×100)	25.0%	12.1%
(D) 最近 5 事業年度の当期純利益額の平均額	467 百万円	563 百万円
(A/D×100)	54.7%	25.8%
(イ/D×100)	54.7%	25.8%

*最近に終了した事業年度の単体経常利益及び連結・単体当期純利益額が 10 億円未満のため、単体経常利益及び連結・単体当期純利益額は最近 5 事業年度の平均値としています。

2. 業績予想の修正について

(1)平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	24,300	1,350	1,250	640	円 銭 57.22
今回修正予想 (B)	25,000	1,190	1,080	410	36.66
増減額 (B-A)	700	△160	△170	△230	—
増減率 (%)	2.8	△11.8	△13.6	△35.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	23,993	1,283	1,194	465	41.26

(2)平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	20,500	1,100	1,050	550	円 銭 49.18
今回修正予想 (B)	20,200	940	880	165	14.75
増減額 (B-A)	△300	△160	△170	△385	—
増減率 (%)	△1.4	△14.5	△16.1	△70.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	20,234	1,012	953	487	43.25

3. 修正の理由

(1)連結業績予想

売上高は、既存業務の売上増加等を主因として、前回発表の業績予想数値を上回る見込みであります。

営業利益、経常利益につきましては、一部不採算業務の採算改善が予定通り進まなかったことや新規業務の開始に伴う費用の先行支払い等もあり、前回発表の業績予想数値を下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、のれんの償却額 145 百万円を特別損失に計上することとなったことや前述の営業利益、経常利益の減益等を主な要因として前回発表の業績予想数値を下回る見込みであります。

(2)個別業績予想

個別の業績予想につきましては、関係会社株式評価損 255 百万円を特別損失に計上すること、債務超過先である当社 100%出資先に、77 百万円関係会社事業損失引当金を積み増す (特別損失に計上) こと等を主因に当期純利益が前回発表の業績予想数値を下回る見込みであります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上